

報 告 書

開 催 日 時	令和4年10月12日（水）					19時30分	～	20時45分
自治協議会名	依那古地区住民自治協議会			開 催 場 所	依那古地区市民センター			
出 席 議 員	西田 方計、川上 善幸、山下 典子							
	班 長	西田 方計		記 録 ・ 報 告 者		山下 典子		
参 加 人 数	17 名							

【主な意見・提言等】

<市長・市議同時選挙に関して>

- ・同時にしてもらった方が関心が高まるので賛成
- ・政治の方針が市長も市議も変わる可能性があるので反対
- ・市長選で落選した人が市議選に出馬する選択肢をなくしてしまうので反対

<子育て施策について>

- ・国の方針もあるが伊賀市独自で子どもを生みやすい施策をしてほしい。
第2子第3子の出産予定日の前2カ月、その後2カ月は3歳児未満の第1子を保育園で預かってくれるが、もっと少子化対策を充実させなければならない。
→後に当局より、今後も個々のケースにより相談を行っていくことを確認。
- ・伊賀市が保育園を民営化する理由は？
→民営化することによって運営費について国県の補助金が明確になることと、独自サービスが向上するであろうという2つの理由を行政側は説明している。

<消防団の運営と団員の確保について>

- ・依那古消防団7班のうち、一つの班で60歳以上となる団員がいる。今まさに成り手不足で困っている。
消防団としては勧誘の時が一番大変なので適正な人数に減らしてもらい支援団員を大幅に確保してもらいたい。
- ・伊賀市の規模でいくと消防団の適正人員は700人と聞いている。例えば各自治協で20人、そこで700人と目指すことを行政は考えるべきではないか。その後、2次団員、3次団員等と考えていく。消防の組織、仕組みづくりから考えなければならない。
→当局に一つの改革案として届けさせていただく。

<去年の地域意見交換会をふまえて>

- ・昨年JAふれあいマートが閉店するというのが大きな話題となったが、その後、自治協とJAで話し合い、移動販売車を出してもらい、独居老人宅は家の庭先まで来てもらい助かっている。JAでは、要望があれば移動販売車を増やしていくという応対をしてもらっている。

<その他>

- ・成人式の問題等、市長の執行権を議会が止められないと感じる。
 - ・新岡波総合病院へのアクセス道路を充実させてほしい。
 - ・農免道路をスピードを落とさず走る車が多いので方策を考えてほしい。
 - ・小学校に通う児童を毎日送り迎えしている。中学校のスクールバスに乗せてほしい。
 - ・浚渫を要望してもなかなかやってもらえない。土砂捨て場を確保すれば早いと言われるが、危険性で判断してほしい。
- 当局に要望があったことを届けさせていただく。

伊賀市議会議長 様

令和4年10月17日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和4年度地域意見交換会 2 班
班長 西田 方計
